

3番 柴立 豊子 議員

1 加齢性難聴者への援助について

- (1) 加齢性難聴は早期発見、早期の補聴器使用が進行を遅らせるなどで有効といわれている。そのために市で実施する健診での聴力検査が必要と考えるがどうか。
- (2) 今年度から健診受診者に対し交付される高齢者福祉共通券が、補聴器購入にも使用されるようになった。しかし補聴器は非常に高価なため、別枠で補助すべきと考えるがどうか。

2 こども誰でも通園制度について

- (1) 利用見込みはどれほどか。
- (2) 一時預かり事業はこの制度ができて使えるのか。
- (3) 総合支援システムは政府が準備するものを使用するのか。
- (4) 本市は全て民間であるが、どのように選定するのか。
- (5) 障害のある子どもの利用もあると考えるが、そのための準備はなされているか。
- (6) 月 10 時間という利用上限はあまりにも少ないと考えるがいかがか。

3 鹿屋基地での訓練について

- (1) 戦後 80 年の取組をされて、改めて平和の尊さを胸に刻まれたと思うが、今後の平和構築をどのように行っていこうと考えているか。
- (2) 鹿屋基地では日米共同訓練・佐賀からのオスプレイの訓練地としての役割、大型無人機シーガーディアン^①の配備、と急激に役割が大きくなっている。それと同時に危険性も増すと考えるがどのような見解を持たれているか。
- (3) レゾリュートドラゴンの訓練では米軍の海兵隊、海軍の兵士が市内のホテルに滞在する。市民の安心安全を守るためにどのような対策をとるのか。
- (4) 9 月 5 日の無人機配備について、基地連絡協議会ではどのような意見が出されたのか。
- (5) 鹿屋基地での訓練について、市民の安心安全を考えるなら、地方自治を守る観点から、レゾリュートドラゴンの訓練中止、オスプレイの訓練中止、無人機配備中止を政府に要請すべきと考えるがいかがか。